

令和2年12月第18回松阪市教育委員会定例会会議録

令和2年12月17日（木）教育委員会室

議題

議案第34号 松阪市立幼稚園に在籍する園児の預かり保育に関する規則の一部改正について

報告事項

1. 松阪市教育功労者表彰推薦者について
2. 令和2年度11月児童生徒の問題行動等について

出席者

| | |
|--------------|---------|
| 教育長 | 中 田 雅 喜 |
| 委員（教育長職務代理者） | 長 島 彩 子 |
| 委員 | 岡 田 光 生 |
| 委員 | 長 井 雅 彦 |
| 委員 | 谷 口 雅 美 |

出席事務局職員

| | |
|-------------------|---------|
| 局長 | 鈴 木 政 博 |
| 次長 | 村 田 佳 之 |
| 教育総務担当参事兼教育総務課長 | 中 西 雅 之 |
| 学校教育課長 | 塩 野 光 弘 |
| 学校支援課長 | 尾 崎 充 |
| 学校支援課 子ども安全・安心担当監 | 小 泉 恵 希 |
| こども未来課 課長補佐 | 西 浦 美奈子 |

午後1時30分開会

○教育長

ただ今から令和2年12月第18回松阪市教育委員会定例会を開会いたします。

なお、傍聴の申し出がございましたので、私のほうで許可をいたしました。ご報告申し上げます。

本定例会につきましては、前回同様、感染防止対策として、アルコール消毒、マスクの着用を徹底するとともに、出席職員を必要最小限とし、会議の時間短縮を図りながら進めてまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

それでは、事項書に従いまして、進めさせていただきます。

議案第34号「松阪市立幼稚園に在籍する園児の預かり保育に関する規則の一部改正について」の提案理由を事務局から説明願います。

(◎事務局から説明)

○教育長

ただ今の事務局の説明に対し、質疑、ご意見はございませんか。

預かり保育についてですが、これまで嬉野地区の4園でやられていたということですが、なぜ、市内で、この時期に増園されるのか、その理由について、もう少し詳しくご説明いただけますか。

◎事務局

松阪市子育てに関するアンケート調査の結果や保護者からの要望もあります。

それと、公立幼稚園の存続に向けて、一つメニューを加えたということもあります。

年々、児童数は減ってはおりますけれども、保育園を希望される保護者が多くなってきております。幼稚園の入園を考える保護者の方が、減少しているのが現状で、それを食い止めるメニューといたしまして、今回、提案させていただきました。

○教育長

幼稚園というのはご存じのように、保育に欠ける保護者ではないということで、早い時間に、迎えに来ていただくことになっております。しかし、保護者の方も働いていたり、いろんな理由があって、閉園時間のあとも預かって欲しいという要望が非常に高くなっております。幼稚園の教育を受けながらも、預かりの対応もして欲しいという、ニーズの多様化ということもあろうかと思えます。

○教育長

他に質疑、ご意見はございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

質疑なしと認めます。よって、これより討論に入ります。

討論はありませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

討論なしと認めます。よって、採決に入ります。

議案第34号を可決することに、賛成の方の挙手を求めます。

(委員の挙手)

○教育長

挙手全員でございます。よって、議案第34号は原案どおり可決いたしました。

それでは、議案が終了しましたので、報告事項に入ります。

報告事項1及び2について、事務局から説明願います。

(報告事項1及び2について、事務局から説明)

○教育長

ただ今の事務局の説明に対して、2件報告がございましたが、何かご質問等はございませんか。

○教育長

ご質問等は、よろしいでしょうか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

質問等が終了いたしましたので、報告事項1及び2は承認したいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員から「異議なし」の声)

○教育長

異議なしということですので、報告事項1及び2は、承認いたしました。

○教育長

報告事項が終了いたしましたので、「その他の項」に入ります。

委員の方々から「その他の項」で、何かございませんでしょうか。

◆委員

昨日、今日のニュースで流れておりました、1クラス35人プランの件についてです。対象が、小学校2年生でしたか。松阪市の場合、少人数のところは、もう既に35人以下になっていると思いますが、生徒数の多いところだと、どれ位の対象校や対象クラスがあるのでしょうか。分かる範囲で構いませんので、お教え願いますでしょうか。

◎事務局

実質、35人以上になっている学級について、小学校ではありません。といいますのは、三重県の取り組みである小1、小2の少人数学級の取り組みであったりとか、多人数学級の加配というのがありまして、現在のところ、36人を超える場合は、措置がされておりました、解消している状況となっております。

中学校につきましては、加配措置を学級編成に使うか、授業活用にということで、授業でTT（ティーム・ティーチング）みたいな形で使うなど、学校の裁量で選択できるようになっております。教室事情等も考慮しながら、運用をされております。

○教育長

小学校は加配がつくことによって、2つのクラスに分割しても、分割したクラスを担当の先生がほとんど授業を持ちますので、分割ができる訳です。ところが、中学校でクラスを2つに分けると、この中学校に対して、数学が1クラス増える、体育が1クラス増えるということになります。それが奇数クラスになってしまうと、例えば、8クラスあって4組体育であれば、2クラス一緒に4組で授業ができます。けれども、9クラスになると、そこだけ別枠で教員が必要になってまいります。体育の教員が一時間増える。大体、35コマありますので、それを増やすとなると、仮に、クラスを1クラス増やして、教員が一人増えたらクラスも1クラス増えるのかというと、そうではありません。

持ち時間数との関わりがありますので、特に、そういうこともあって、中学校の場合で多くの学校が取り入れているのは、習熟度別です。たとえば、クラスなど合唱祭をする場合や議論する場合だと、35人位が良いと。でも、数学の授業や英語の授業、いわゆる積み重ねの授業で、習熟度の差があるような場合では、習熟度別というのをほとんどの学校で取り入れております。

そういった形で加配を使っていることが多いです。目的に応じて、例えば、TT（ティーム・ティーチング）であったり、その習熟度別学習であるとか、そういうことをすることによって、発言の機会が多くなったりとか、分かりやすいとか、気兼ねなく質問ができるとか、というようなこともあります。

ですので、一概に、クラス数をどうこうというのではなくて、いろんな観点はありますけれども、できれば目的に応じたものに使っていく。単純に、35人以下にしてしまうと松阪市では、教室が足らなくなってしまうので、さらに教室を増やしていかななくては

なりません。

そのあたりの適正な規模がどれ位なのか、どれ位のクラス数が良いのかなどについては、国の方からもハッキリとした指針が出ておりません。国の方からは、クラスは複数あった方が良いでしょう。いじめがあった時に、配置換えができるとかで、クラスは複数あった方が良いでしょうということです。1クラス30人で良いでしょう、25人で良いでしょう。今回は、コロナ感染症対策で密にならないという観点から言われておりますけれども、現実としては厳しいのかなと思っております。

ですので、松阪市では、今、学校の適正規模、適正配置について議論をいただいておりますので、そこで一定のご意見をいただこうかなと思っております。

少人数が良いところ、複式学級があるところについてはどうなのかとか、そういう議論をしていきたい。また、この場でも、その提言を受けて、皆様のご意見をいただきながら、市としての方針を決めていきたいと思っております。

その際には、皆様のご議論をよろしく願います。

来年、参考までに複式学級となる所は、5校です。学校名を言わせていただきますと、香肌小学校、こは2複式になります。それから、東黒部小学校、機殿小学校、南小学校、松ヶ崎小学校、これらが複式学級になります。

香肌小学校は、2複式学級になって、学級数も2クラスになりますので、本来ならば、校長と担任2人となります。養護教諭がいない、事務官もいない、教頭がいない、そういう学校運営になります。それはちょっといかがなものかなと言うことで、今、県のほうに、少なくとも養護教諭を入れてください、事務官を入れてください、ということで、かなり強くお願いをしております。

今後、ギガスクール構想の下、5Gか何か、田舎の辺りで入るかどうかは分かりませんが、遠隔授業とか、そういうのを積極的に取り入れていきたいかなと思っております。

また、一度このメンバーで、複式学級の学校に訪問して、どんな授業をしているのかを見に行ってもらいたいかなと思っております。複式の授業は、「渡り」というのがあります。小学校3・4年生が複式学級の場合、3年生が算数をしていけば、4年生も算数をする。先生は、前半の部分で3年生に話をし、こんなことをやりなさいねと伝え、後半部分は4年生の授業へ行くというような方法です。また、「AB年度」というのは、3年生4年生で習うものを2学年の児童が一緒になって学習するやり方です。例えば、社会科で、1年目(A年度)は3・4年の前半部分を学習し、2年目(B年度)は、残った後半部分を学習する方法です。私も、複式の授業で「渡り」の授業を上手にやっているところを見たんですけれども、まさにそれが、ある部分、授業の本質かなと思えました。

きちっと、子どもたちが自ら課題を見つけて、課題をドンドンと自分たちでやっていく。教師は、それに対してアドバイスをしていく。そういうような形で、両者ともに、教師が示したことと、自分らの課題をどんどん進めていく。その結果、ある単元では、普通の学級でやる時間数よりも3分の2位で終わってしまうこともありました。後の3分の1は、自分たちで発展的学習をやっている。したがって、その学校の児童は、非常に学力が高かったんです。

しかしながら、自分の考えを人にアピールするとか、人のいろんな考えを聞くと言うような事、それを聞いて自分の考えを改め、もう一度確かなものにしていく。そういった辺りは、少し弱かったかなと思えました。そういうこともありますけれども、是非、そんな様子を見ていただきたいかなと思えます。

その他、よろしいでしょうか。

○教育長

無いようでございますので、事務局から、その他の項で何かありませんでしょうか。

はい、無いようですので、最後に、事務局から次回の定例会の日程等の報告をお願いします。

◎事務局

次回の教育委員会定例会でございますが、来年の1月22日金曜日午後1時30分から教育委員会室で開催いたしますので、よろしくお願いいたします。

また、同日は、午後3時から教育委員会室にて、総合教育会議を開催する予定でございますので、よろしくお願いいたします。

○教育長

この総合教育会議は、教育大綱についてでしたね。それと、ギガスクールのデモンストレーションをさせていただきます。皆さん生徒になったつもりで、タブレットを配布させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それと、1月8日、中部中学校にて、市長に来ていただいて、タブレットをお渡しするセレモニーを行います。そこから、松阪市全校でタブレットを用いて授業が始まることとなります。もし、お時間がありましたら、中部中学校の方へお越しいただければと思います。また、詳細な時間等については、ご案内を申し上げたいと思います。

このタブレット端末については、以前発表した際には、本当に全国から注目を浴びておりまして、たくさんの問い合わせもございました。2月には Apple 社と共同して、教育委員会の取り組みを全国展開しようかなと思っております。

それでは、これで令和2年12月第18回松阪市教育委員会定例会を閉会いたします。

午後1時50分閉会